

# 第81期事業報告及び計算書類報告の件

2026年6月26日

代表取締役社長  
西田憲司

# 1. 2026年3月期の総括

売上高

7,044

百万円 / 前期比 +3.8%

営業利益

111

百万円 / 前期比 +35.5%

当期純利益

60

百万円 / 前期  $\Delta$ 74百万円

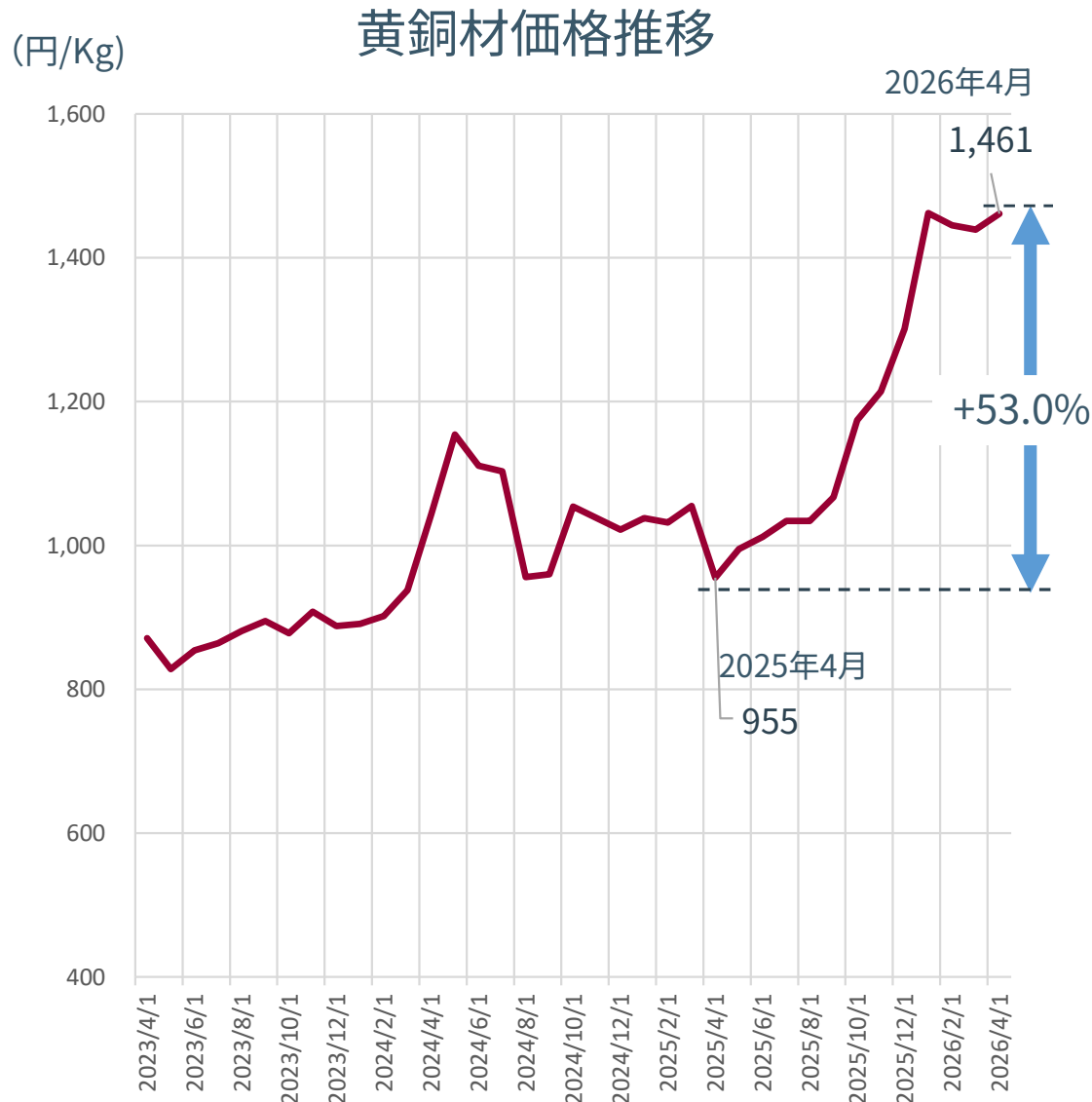
## 業績回復の背景

- ・ LPガス容器用弁が増加し、船舶用も伸長しました。
- ・ 作業屑売上高は工場稼働率上昇と価格上昇で増収となりました。
- ・ 前期には独占禁止法関連損失148百万円を特別損失として計上しましたが、当期は大きな特別損失はありませんでした。

## 経営上の課題認識

- ・ 黄銅材価格が急騰しており、樹脂材料、運賃などのコスト上昇が最大のリスク要因です。
- ・ 固定費削減、生産性向上、調達先多様化によるコスト削減と製品値上げで収益確保を図っております。
- ・ 収益基盤を多角化し安定化するために、新製品および新事業の開発を優先的に取り組んでいます。

## 2. 黄銅材価格の急騰



### 対応策

- 黄銅材価格のリスクヘッジ策として、銅価格に連動するETF（上場投信）の購入を行いました。  
「銅価格上昇→コスト上昇→収益悪化」の一方で「銅価格上昇→資産価値上昇」となり、トータルでリスク低減策となります。
- 現在の水準を超えてさらに高騰の兆しが出るようであれば、デリバティブ（コモデティスワップ等）でのリスクヘッジも検討していく方針です。

### 3. 主要指標の前年比較

売上高

**+258**

百万円増

営業利益

**+29**

百万円増

経常利益

**+26**

百万円増

当期純利益

**+135**

百万円改善

| 項目                  | 2025年3月 | 2026年3月 | 増減     |
|---------------------|---------|---------|--------|
| 売上高                 | 6,785   | 7,044   | +258   |
| 営業利益                | 81      | 111     | +29    |
| 経常利益                | 73      | 100     | +26    |
| 当期純利益               | △74     | 60      | +135   |
| 営業活動による<br>キャッシュフロー | 104     | 314     | +210   |
| 自己資本比率              | 44.7%   | 45.2%   | +0.5pt |
| 1株当たり配当             | 2.00円   | 2.00円   | —      |

## 4. 売上増減の主な要因

(百万円)

| 製品用途        | 2025年3月 | 2026年3月 | 増減   |
|-------------|---------|---------|------|
| LPガス容器用弁    | 3,141   | 3,413   | +272 |
| 設備用         | 910     | 850     | ▲59  |
| バルク附属機器     | 1,012   | 872     | ▲140 |
| 車載用         | 176     | 147     | ▲28  |
| 船舶用         | 310     | 346     | +35  |
| 低温弁（鉄鋼弁その他） | 125     | 153     | +28  |
| その他         | 97      | 107     | +10  |
| 作業屑売上高      | 1,010   | 1,151   | +140 |
| 合計          | 6,785   | 7,044   | +258 |

### <増収>

- ・LPガス容器用弁が好調で売上高を牽引しました。
- ・その生産のため黄銅作業屑の発生が多くなり、黄銅価格も高騰したため、売上高が増加しました。
- ・船舶用はLPガス運搬船のタンク周りであり、エネルギー安全保障の観点から受注が強含みとなっています。
- ・低温弁では当社ブランドが浸透してきたため、液体窒素や液体水素用バルブの売り上げが安定的に増加しています。

### <減収>

- ・バルク附属機器は20年検査需要が終息しており、貯槽生産が大幅に減少したため減収となりました。
- ・設備用は前年度に値上げ前の駆け込み需要があったため減収となりました。
- ・車載用は当社主要顧客の生産が20%以上減少したため減収となりました。

## 5. 財政状態の概要

| (百万円)   | 2025年3月 | 2026年3月 | 増減   |
|---------|---------|---------|------|
| 流動資産    | 3,522   | 3,564   | +42  |
| 固定資産    | 5,375   | 5,247   | ▲128 |
| 資産合計    | 8,897   | 8,811   | ▲86  |
| 流動負債    | 2,803   | 2,674   | ▲129 |
| 固定負債    | 2,119   | 2,154   | +35  |
| 負債合計    | 4,922   | 4,829   | ▲93  |
| 純資産     | 3,975   | 3,982   | +7   |
| 負債純資産合計 | 8,897   | 8,811   | ▲86  |
| 自己資本比率  | 44.7%   | 45.2%   | +0.5 |

### 主な増減項目（百万円）

#### <流動資産>

- ・商品及び製品・仕掛品+149、売掛金及び契約資産+50 計+199
- ・現金及び預金△82、受取手形・電子記録債権△62、原材料及び貯蔵品△11 計△155

#### <固定資産>

- ・投資その他の資産+100 計+100
- ・機械及び装置△126、リース資産△54、工具器具備品△16、無形固定資産△17 計△213

#### <流動負債>

- ・短期借入金（1年内長期借入金含む）△59、設備支払手形・電債△88 計△147

#### <固定負債>

- ・長期借入金+79 計+79
- ・リース債務△59 計△59

## 6. 82期（2027年3月期）業績見通し

| (百万円)   | 2026年3月 | 2027年3月<br>(見通し) | 増減   |
|---------|---------|------------------|------|
| 売上高     | 7,044   | 7,300            | +256 |
| 営業利益    | 111     | 140              | +29  |
| 経常利益    | 100     | 120              | +20  |
| 当期純利益   | 60      | 80               | +20  |
| 1株あたり配当 | 2.00    | 2.00             | -    |

### <業績見通し>

#### (売上高)

- ・LPガス容器用弁と船舶用が好調を維持し、バルク附属機器と車載用の回復が見込まれるため、設備用は横ばいの見込みですが、全体としては増加する見通しです。

#### (収益面)

- ・国際政治情勢が不安定さを増す中、黄銅材が歴史的水準で高止まりしており、かつ樹脂材料や運賃その他の諸掛りも上昇しており、収益性の悪化が懸念されます。
- ・当社としては、引き続き固定費の削減、生産性の向上、調達先の多様化、製品の値上げを通して、収益性の回復を目指します。

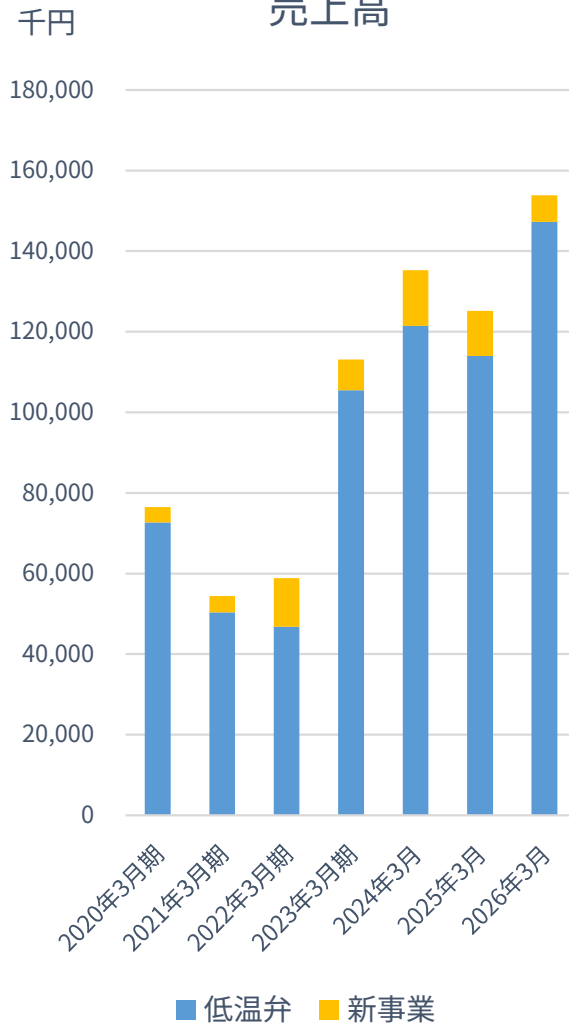
# 7. 事業展開

|                            | コア事業  | 拡大事業   | 新事業  | 提携事業   |
|----------------------------|---|--|--|--|
| 分野                         | LPG   | LNG・水素   | 食品加工用機器<br>アグリ事業   | 産業ガス分野   |
| 8<br>1<br>期<br>取<br>組<br>み | <ul style="list-style-type: none"> <li>中国でのOEM生産に目途をつけました。上海長成によるLPG配管用バルブとステンレスボールバルブが品質良好です。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>液体水素、LNG、液体窒素用低温弁の販売が順調に拡大しています。</li> <li>アンモニア燃料船用バルブやアンモニアタンクローリー用バルブ等の特殊用途製品の開発・販売を行いました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>醸造所の運営が軌道に乗り年産11千本のワインを製造しています。</li> <li>醸造機器では、バレルクリーナーの市場評価が良好となっています。また、サニタリーバルブの売上が順調に拡大しています。</li> <li>きくらげ栽培の収支が黒字化し、菌床販売も拡大しています。</li> <li>ECサイトの運営が軌道に乗りました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>昌栄機工株式会社と製品の開発設計に特化した合弁会社（SOZOテック株式会社）を設立し活動を開始しました。営業は昌栄機工、製造は当社、開発設計はSOZOテックという役割分担です。</li> </ul> |
| 8<br>2<br>期<br>計<br>画      | <ul style="list-style-type: none"> <li>上海長成の当社ブランドOEM製品の中国内での販売および日本国内販売を行っていきます。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>大手産業ガスメーカーに対するSOZOテックの開発営業とその他商社・メーカーに対する当社の独自営業の両方を積極的に拡大していきます。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>アクチュエーター付サニタリーバルブ（自動弁）を拡大していきます。</li> <li>醸造機器類の改良を推進していきます。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>既にSOZOテック関連売上を実現しましたので、さらに強化していきます。</li> </ul>  |

# 8. 製品トピックス

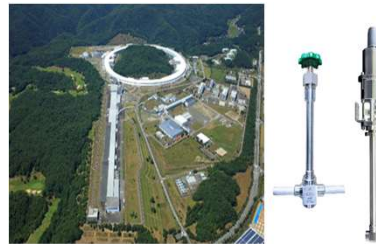
## 低温弁・新事業

### 売上高



### 低温弁リポート

(株)鈴木商館様経由理化学研究所様  
Sping-8用液体窒素用弁



エーテック(株)様経由  
(C)宇宙航空研究開発機構様  
燃料タンク用極低温バルブ



空気分離装置用低温弁



その他低温弁



### 新製品

エア・ウォーター(株)様  
アンモニア燃料タグボート用バルブ



富士車輛(株)様  
アンモニアタンクローリー



日本酸素(株)様  
食品加工機用  
液体窒素ノズル



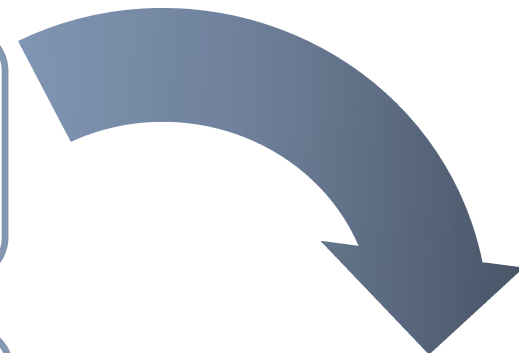
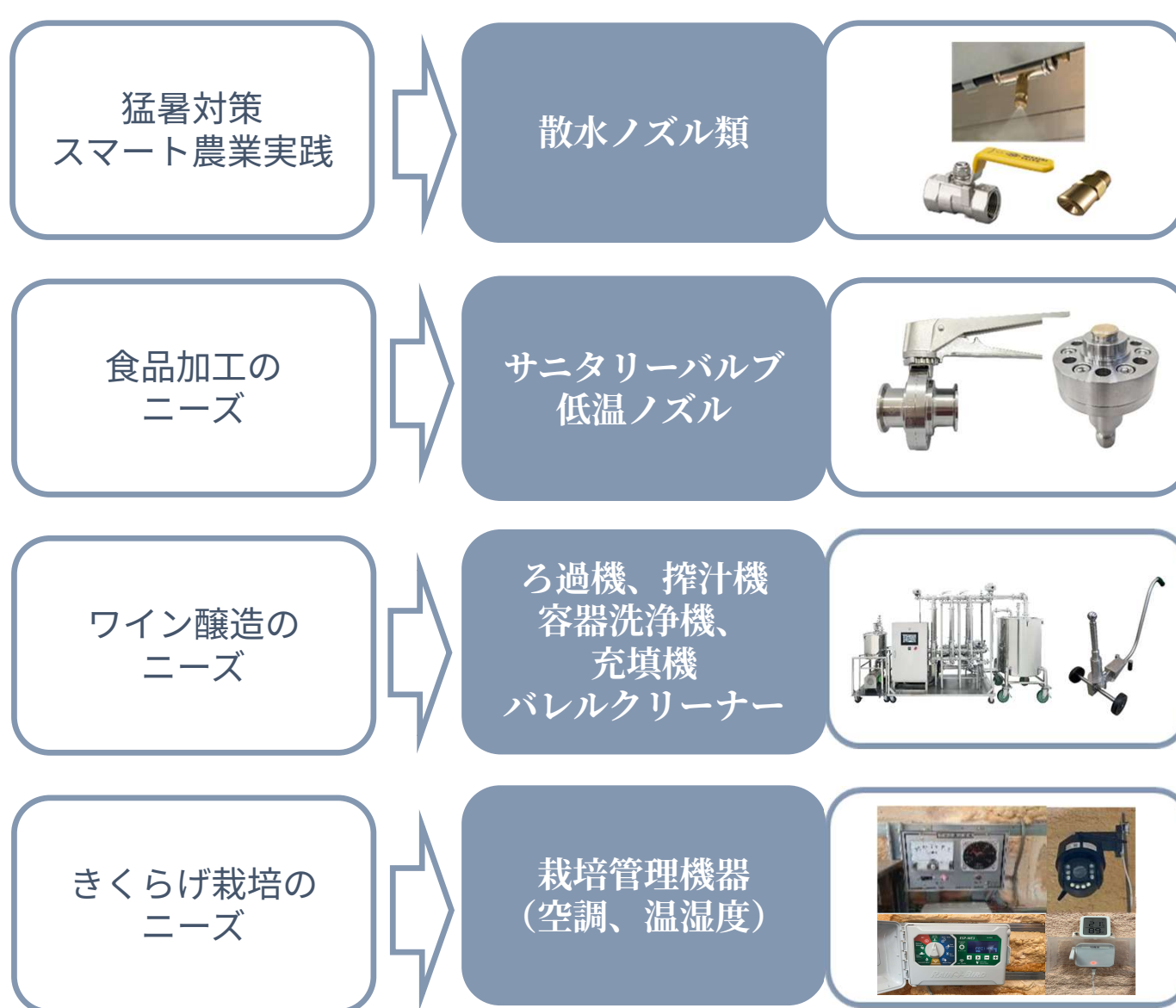
アセトンリサイクル装置用  
耐薬品性サンプルコック



上海長成OEM  
ボールバルブ



# 9. アグリ事業



**MS Online Shop**



# 10. 事業戦略

